

まほらいな市民大学の様子

令和7年11月20日（木）

『太宰 治のふるさと「津軽」に描かれたほのぼのとした愛』

講師 文学愛好家 堀井正子氏



堀井正子さんから、太宰 治の生い立ちや出会った叔母「きゑ」と子守の「越野たけ」のこと、太宰 治と井伏鱒二とのやりとりや、作品「走れメロス」に表れた太宰の生き方などの話がありました。作品「津軽」では、津軽富士の写真や津軽地方の地図を用いて情景豊かなお話があり、「修治」と子守「たけ」が再会する時の心の描写に聴き入りました。短命であった太宰 治の生涯と作品の魅力について話がありました。

学生からは、「堀井先生はラジオでお声だけ聞かせていただいています、初めてお会いできて感激です。太宰 治の作品を読みたくなりました。」「太宰治の小説“走れメロス”“人間失格”は知っていましたが、太宰 治のことをくわしく教えていただき、他の小説も読んでみたくまりました。」「小説津軽での“たけとの再会”の場面は心に残った。太宰 治の心の繊細さを感じた。」といった感想がありました。